



## ポイント

育苗技術の向上だけでなく、コンテナ苗の規格の見直しや計画生産のための需要安定化がコンテナ苗生産の発展に重要!

項目	内 訳	割 合	内訳の割合
栽培方法		58%	
	最適な培地、充填具合		14%
	最適な施肥		12%
	マニュアルが欲しい		8%
	最適な灌水		4%
	病害虫対策法		6%
	最適な移植時期、移植方法		4%
	プラグ苗生産、移植効率向上（植える道具）		4%
	最適な設置場所		2%
	コンテナの最適なキャビティサイズ		2%
雑草管理法		2%	
成長		18%	
	得苗率上げたい		6%
	直径成長の促進		4%
	成長を止めたい		4%
	成長促進		2%
成長のデータがほしい		2%	
生産体制		16%	
	生分解性ポットの導入推進		4%
	余剰苗の発生を抑える対策		2%
	機械（培土攪拌、充填用等）を導入したい		2%
	完全な機械化		2%
	育苗期間の短期化（1年へ）		2%
	コンテナ苗生産の低コスト化方法		2%
研修内容の改善		2%	
規格等の見直し		22%	
	規格の見直し・明確化（小型苗流通、根鉢容量、苗の齢）		10%
	直径を規格に入れなくてほしい		4%
	出荷方法を画一化		4%
価格を下げなくてほしい（売価が安い）		4%	
需要安定化、業者間連携		16%	
	コンテナ苗の利用促進 / 需要拡大		4%
	数年先の必要数を知りたい（計画生産）		4%
	育苗者と造林者の意見交換		4%
	需要の拡大に対応できる制度の整備		2%
植栽後の成績知りたい		2%	
その他		6%	
	少花粉 / 優良品種を増やしたい		4%
生産試験用に種子の追加配布		2%	

注) 小数点以下第一位を四捨五入しているため、内訳の合計値が各項目の割合と一致しない場合があります。複数回答可のため、割合の合計値は100を超えます。